



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月15日

上場会社名 昭和化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4990 URL <https://www.showa-chemical.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石橋 健藏
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 笹元 岳 TEL 03-5575-6300
 定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	9,225	18.6	600	100.1	835	74.1	616	78.7
2022年3月期	7,779	—	300	—	479	—	345	—

(注) 包括利益 2023年3月期 687百万円 (76.7%) 2022年3月期 389百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	58.21	—	9.6	6.5	6.5
2022年3月期	32.60	—	5.8	3.8	3.9

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 116百万円 2022年3月期 114百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	13,039	6,758	51.8	637.92
2022年3月期	12,613	6,123	48.5	578.02

(参考) 自己資本 2023年3月期 6,756百万円 2022年3月期 6,121百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	625	△281	△581	2,672
2022年3月期	518	△185	△211	2,908

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	—	—	5.00	5.00	54	15.3	0.9
2023年3月期	—	—	—	9.00	9.00	98	15.5	1.5
2024年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00		17.6	

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,600	0.3	200	△40.4	280	△41.4	200	△42.3	18.88
通期	8,900	△3.5	350	△41.7	450	△46.1	300	△51.3	28.33

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	11,979,000株	2022年3月期	11,979,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期	1,388,167株	2022年3月期	1,388,167株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	10,590,833株	2022年3月期	10,585,070株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2022年4月1日～2023年3月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、同感染症)による行動制限が緩和され、社会経済活動が正常化し始めたものの、資源価格高騰や円安の進行による輸入コストの上昇が歴史的な物価高となり景気に影響を及ぼす等、今後の予測が難しい状況が続いております。

当業界におきましては、各種エネルギー及び資材価格の高騰による製造原価上昇等により厳しい状況で推移しております。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、売上目標達成と利益確保に尽力しました。

その結果、国内市場での販売価格改定、海外市場での積極的な営業展開等により売上高は92億25百万円(前期比18.6%増)となりました。利益面では、燃料費をはじめ製造原価の増加が深刻な水準であったものの、各種経費削減効果及び為替差益の影響等により経常利益は8億35百万円(同74.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は6億16百万円(同78.7%増)となりました。なお、当社グループは単一セグメントであるため、商品別の業績を記載すると次のとおりであります。

濾過助剤

当該商品は、主にビール類・清涼飲料水・甘味料・調味料等の食品工業、抗生物質等の製薬工業、油脂・合成樹脂等の化学工業、ごみ焼却場等で使用される当社の主力製品群です。

当連結会計年度におきましては、食品工業向け製品を中心に海外市場、国内市場とも全体的に売上が増加しました。この結果、売上高は58億92百万円(前期比28.3%増)となりました。この分野の売上は、当社グループ売上全体の63.9%を占めております。

建材・充填材

当該商品は、主に住宅用建材や土木資材、シリコンゴム等に使用される製品群です。

当連結会計年度におきましては、海外市場は微減でしたが、国内市場は主に住宅用建材向け製品、並びに各種充填材向け製品の売上が増加しました。この結果、売上高は14億88百万円(前期比5.6%増)となりました。この分野の売上は、当社グループ売上全体の16.1%を占めております。

化成品

当該商品は、主にプールや温浴施設及び浄化槽向けの塩素系消毒剤、産業排水向けの高活性微生物剤等の水処理関連製品群です。

当連結会計年度におきましては、同感染症による影響からの回復が継続したことで全体的に売上が増加しました。この結果、売上高は12億94百万円(前期比5.5%増)となりました。この分野の売上は、当社グループ売上全体の14.0%を占めております。

その他の製品

当該商品は、主に珪藻土粒状品及びデオドラント製品や浴室関連機器等の生活関連用品、その他スポットで発生する製品群です。

当連結会計年度におきましては、主に各種化学品向け製品の売上が微減となりました。この結果、売上高は5億49百万円(前期比0.3%減)となりました。この分野の売上は、当社グループ全体の6.0%を占めております。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4億26百万円増加し、130億39百万円となりました。主な増加は、受取手形及び売掛金4億75百万円、投資有価証券1億33百万円であり、主な減少は現金及び預金2億56百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2億8百万円減少し、62億81百万円となりました。主な増加は、支払手形及び買掛金1億80百万円であり、主な減少は、短期借入金3億14百万円、社債1億20百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6億34百万円増加し、67億58百万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する当期純利益6億16百万円であり、主な減少は、利益剰余金の配当金の支払い52百万円であります。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の48.5%から51.8%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より2億36百万円減少し、26億72百万円となりました。

当連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、6億25百万円となりました。

これは、主に税金等調整前当期純利益8億17百万円、減価償却費2億78百万円に対し、売上債権の増加4億75百万円があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億81百万円となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出2億23百万円、無形固定資産の取得による支出30百万円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、5億81百万円となりました。

これは、主に、長期借入金の借入による収入1億50百万円に対し、短期借入金の純増減額の減少3億14百万円、長期借入金の返済による支出2億13百万円、社債の償還による支出2億40百万円、配当金の支払額52百万円があったことによります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標は次のとおりであります。

項目	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	44.3	45.6	46.9	48.5	51.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	40.4	52.8	43.9	31.6	36.7
債務償還年数 (年)	9.4	5.6	5.3	8.0	5.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	10.4	16.2	17.8	13.5	19.8

- (注) 自己資本比率 : (自己資本) ÷ (総資産)
 時価ベースの自己資本比率 : (株式時価総額) ÷ (総資産)
 債務償還年数 : (有利子負債) ÷ (営業キャッシュ・フロー)
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : (営業キャッシュ・フロー) ÷ (利払い)

- 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
- 「株式時価総額」は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
- 「営業キャッシュ・フロー」は、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。「有利子負債」は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、「利払い」については、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。
- 「債務償還年数」及び「インタレスト・カバレッジ・レシオ」については、営業キャッシュ・フローがマイナスの場合は記載していません。

(4) 今後の見通し

次期の日本経済は、社会経済活動の正常化により緩やかな回復が続く一方で、物価高や海外経済の減速が景気の下押し圧力となる等、予断を許さない状況が続くと予想されます。

このような経営環境の中、当社グループは経営理念である「お客様のため、社会のため、人間生活向上のため、貴重な資源を限りなく有効に活用し、広く産業を支え、豊かな明日を構築することに貢献する。」を実現すべく、気候変動問題への対応や多様なバックグラウンドを持った人材が活躍できる基盤づくり等の社会的要請を意識しつつ、積極的な拡販活動、新規事業育成、全社規模でのコスト削減、感染症を含めた災害リスクの低減等、各種施策を進めてまいります。

なお、2024年3月期の連結業績予想につきましては、売上高89億円、営業利益3億50百万円、経常利益4億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3億円を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、安定した配当を継続的にを行うことを基本方針としております。さらに、長期的視点による事業の維持拡大をめざし、適時、効果的な設備投資及び研究開発を実践していくため内部留保の確保に努めております。

当期の株主配当金につきましては、当社は2023年11月をもちまして創立90周年を迎えますことから、当期の業績を鑑みると同時に株主様の日頃のご支援に感謝の意を表し、1株につき4円の記念配当を実施いたします。これにより、通常の配当金5円と合わせ1株につき当期株主配当金を計9円とさせていただく予定であります。

次期の配当金につきましては、2024年3月期の連結業績予想及び今後の資金需要、財務体質等を総合的に勘案し1株につき5円とさせていただく予定であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

今後のIFRS（国際会計基準）の適用につきましては、国内外の情勢等を踏まえ、適切な対応を検討していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,248,627	2,992,595
受取手形及び売掛金	2,338,349	2,813,598
商品及び製品	283,107	362,152
仕掛品	447,466	445,828
原材料及び貯蔵品	170,105	186,261
その他	46,593	95,812
貸倒引当金	△1,395	△3,094
流動資産合計	6,532,854	6,893,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,028,114	3,062,833
減価償却累計額	△2,143,002	△2,192,887
建物及び構築物(純額)	885,112	869,946
機械装置及び運搬具	4,828,011	4,884,828
減価償却累計額	△4,213,469	△4,309,105
機械装置及び運搬具(純額)	614,541	575,723
土地	598,046	593,573
原料用地	663,583	663,583
減価償却累計額	△207,736	△216,321
原料用地(純額)	455,847	447,262
リース資産	162,418	157,138
減価償却累計額	△162,418	△157,138
リース資産(純額)	—	—
建設仮勘定	23,387	26,045
その他	113,411	118,631
減価償却累計額	△93,246	△101,447
その他(純額)	20,165	17,184
有形固定資産合計	2,597,101	2,529,735
無形固定資産		
その他	41,866	76,141
無形固定資産合計	41,866	76,141
投資その他の資産		
投資有価証券	2,790,810	2,923,842
長期貸付金	62,380	61,180
繰延税金資産	144,713	108,784
その他	528,906	531,011
貸倒引当金	△85,060	△84,113
投資その他の資産合計	3,441,750	3,540,705
固定資産合計	6,080,718	6,146,581
資産合計	12,613,572	13,039,734

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	859,217	1,039,517
短期借入金	2,694,349	2,379,970
1年内償還予定の社債	230,000	210,000
1年内返済予定の長期借入金	298,240	208,660
リース債務	9,884	—
未払法人税等	53,337	82,034
賞与引当金	43,875	44,987
その他	298,701	422,673
流動負債合計	4,487,606	4,387,843
固定負債		
社債	470,000	350,000
長期借入金	469,520	495,860
繰延税金負債	58,364	44,183
役員退職慰労引当金	18,998	18,998
退職給付に係る負債	888,649	888,999
その他	96,926	95,595
固定負債合計	2,002,458	1,893,636
負債合計	6,490,064	6,281,480
純資産の部		
株主資本		
資本金	598,950	598,950
資本剰余金	574,299	574,299
利益剰余金	4,653,429	5,205,714
自己株式	△421,851	△421,851
株主資本合計	5,404,827	5,957,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	617,404	662,938
土地再評価差額金	△4,736	6,559
為替換算調整勘定	104,253	129,539
その他の包括利益累計額合計	716,921	799,037
非支配株主持分	1,758	2,104
純資産合計	6,123,508	6,758,254
負債純資産合計	12,613,572	13,039,734

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	7,779,603	9,225,603
売上原価	5,316,250	6,277,632
売上総利益	2,463,353	2,947,970
販売費及び一般管理費		
発送費	857,871	996,476
給料及び手当	404,379	406,239
賞与引当金繰入額	23,068	23,170
退職給付費用	40,830	41,227
貸倒引当金繰入額	△14	△280
減価償却費	65,249	61,962
その他	771,737	818,469
販売費及び一般管理費合計	2,163,122	2,347,265
営業利益	300,230	600,705
営業外収益		
受取利息	321	1,229
受取配当金	37,836	46,459
固定資産賃貸料	55,732	56,721
持分法による投資利益	114,376	116,957
売電収入	27,377	28,250
為替差益	1,331	35,644
その他	34,929	34,892
営業外収益合計	271,904	320,157
営業外費用		
支払利息	39,421	32,004
売電費用	19,896	20,033
減損損失	11,726	4,002
その他	21,227	29,596
営業外費用合計	92,271	85,637
経常利益	479,863	835,224
特別利益		
有形固定資産売却益	219	489
投資有価証券売却益	—	11
特別利益合計	219	501
特別損失		
有形固定資産売却損	—	1,934
固定資産除却損	5,124	16,666
投資有価証券評価損	9,289	—
投資有価証券売却損	40	—
特別損失合計	14,454	18,601
税金等調整前当期純利益	465,628	817,125
法人税、住民税及び事業税	131,473	197,569
法人税等調整額	△10,821	2,681
法人税等合計	120,652	200,251
当期純利益	344,976	616,874
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△47	345
親会社株主に帰属する当期純利益	345,024	616,528

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	344,976	616,874
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,270	42,792
為替換算調整勘定	18,903	2,392
持分法適用会社に対する持分相当額	65,588	25,619
その他の包括利益合計	44,221	70,804
包括利益	389,198	687,678
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	389,245	687,333
非支配株主に係る包括利益	△46	345

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	598,950	576,896	4,361,231	△435,483	5,101,593
当期変動額					
剰余金の配当			△52,825		△52,825
親会社株主に帰属する当期純利益			345,024		345,024
自己株式の取得					—
連結子会社所有の親会社株式の処分		△2,596		13,632	11,035
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△2,596	292,198	13,632	303,234
当期末残高	598,950	574,299	4,653,429	△421,851	5,404,827

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	656,608	△11,208	27,300	672,699	1,658	5,775,951
当期変動額						
剰余金の配当						△52,825
親会社株主に帰属する当期純利益						345,024
自己株式の取得						—
連結子会社所有の親会社株式の処分						11,035
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△39,203	6,472	76,952	44,221	100	44,322
当期変動額合計	△39,203	6,472	76,952	44,221	100	347,556
当期末残高	617,404	△4,736	104,253	716,921	1,758	6,123,508

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	598,950	574,299	4,653,429	△421,851	5,404,827
当期変動額					
剰余金の配当			△52,932		△52,932
親会社株主に帰属する当期純利益			616,528		616,528
自己株式の取得					—
土地再評価差額金の取崩			△11,311		△11,311
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	552,284	—	552,284
当期末残高	598,950	574,299	5,205,714	△421,851	5,957,112

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	617,404	△4,736	104,253	716,921	1,758	6,123,508
当期変動額						
剰余金の配当						△52,932
親会社株主に帰属する当期純利益						616,528
自己株式の取得						—
土地再評価差額金の取崩		11,311		11,311		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	45,533	△15	25,286	70,804	345	71,149
当期変動額合計	45,533	11,296	25,286	82,115	345	634,746
当期末残高	662,938	6,559	129,539	799,037	2,104	6,758,254

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	465,628	817,125
減価償却費	294,047	278,776
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,882	751
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20	1,112
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,065	350
受取利息及び受取配当金	△38,158	△47,689
支払利息	39,421	32,004
減損損失	11,726	4,002
投資有価証券評価損益 (△は益)	9,289	—
持分法による投資損益 (△は益)	△114,376	△116,957
有形固定資産売却損益 (△は益)	△219	1,444
固定資産除却損	5,124	16,666
売上債権の増減額 (△は増加)	△225,625	△475,248
棚卸資産の増減額 (△は増加)	63,448	△93,562
仕入債務の増減額 (△は減少)	91,361	189,469
その他	55,609	137,431
小計	664,205	745,677
利息及び配当金の受取額	70,885	79,836
利息の支払額	△38,306	△31,494
法人税等の支払額	△177,990	△168,946
営業活動によるキャッシュ・フロー	518,794	625,072
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	20,000
有形固定資産の取得による支出	△130,904	△223,316
有形固定資産の売却による収入	1,530	1,626
無形固定資産の取得による支出	△19,536	△30,227
固定資産の除却による支出	△3,693	△7,548
投資有価証券の取得による支出	△11,933	△14,897
投資有価証券の売却による収入	—	180
長期貸付金の回収による収入	1,300	1,200
その他	△22,620	△28,769
投資活動によるキャッシュ・フロー	△185,858	△281,752
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△60,799	△314,378
長期借入れによる収入	100,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△207,142	△213,240
社債の発行による収入	296,221	98,690
社債の償還による支出	△290,000	△240,000
リース債務の返済による支出	△6,884	△9,884
子会社の所有する親会社株式の売却による収入	10,001	—
配当金の支払額	△52,825	△52,932
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211,428	△581,745
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,903	2,392
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	140,411	△236,032
現金及び現金同等物の期首残高	2,768,215	2,908,627
現金及び現金同等物の期末残高	2,908,627	2,672,595

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度（自2021年4月1日 至2022年3月31日）及び当連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）
当社グループは、珪藻土・パーライト事業セグメント単一ですので、セグメント情報の記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自2021年4月1日 至2022年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

区分	濾過助剤	建材・充填材	化成品	その他	合計
外部顧客への売上高	4,591,316	1,409,626	1,227,296	551,364	7,779,603

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	その他	合計
6,760,015	1,019,587	7,779,603

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

日本国内の有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

区分	濾過助剤	建材・充填材	化成品	その他	合計
外部顧客への売上高	5,892,009	1,488,937	1,294,877	549,779	9,225,603

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	その他	合計
7,097,130	2,128,472	9,225,603

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

日本国内の有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2021年4月1日 至2022年3月31日）及び当連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）

当社は、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2021年4月1日 至2022年3月31日）及び当連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自2021年4月1日 至2022年3月31日）及び当連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	578.02円	637.92円
1株当たり当期純利益金額	32.60円	58.21円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	345,024	616,528
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益金額 (千円)	345,024	616,528
期中平均株式数 (千株)	10,585	10,590

（重要な後発事象）

該当事項はありません。